

# 2025年度 第2回魅力向上推進協議会



海の中道青少年海の家

# 海の中道青少年海の家 “スローガン”

「野外活動を通して感動を 感動を通して成長を」



# 「オールうみなか」で人とまちに活力を生み出し続ける公園

○Park-PFIとの新たな連携 ナイトミッション実施回数 2回

## ナイトミッション（天体観察）

5月10日（土）開催 44名（13家族） 参加者満足度 93.8%

ナイトミッション特別編（Park-PFI、マリンワールド、ザ・ルイガソスと連携）  
7月12日（土）開催 47名（16家族） 参加者満足度 92.0%

## 今後の予定

令和7年12月 昼間実施（Park-PFI・ルイガソスと連携）

○FB（FaceBook）フォロワー数 549⇒555

○インスタ（Instagram）フォロワー数 924⇒1097

## 他の活動状況

YouTubeの活用 カッター教室 事前学習



5/10実施募集チラシ

# 海の中道の歴史、自然を後世に継承し、活かす公園

○福岡市環境局との連携によるラブアースクリーン活動

福岡市環境局 ラブアースクリーンアップ

6月8日（日） 32団体 377名



6/8ラブアースクリーンアップ参加者

○SDGs関連 ワークショップ

イオンモール筑紫野 流木・貝殻アート制作

8月2・3日（土・日） 52組 127名

○福岡市環境局との連携によるSDG s 取組 環境フェスティバル参加

10月25・26日（土・日） ブース出展予定

## 新たなプログラム実施（主催事業）

夏だ！海の家に行こう♪ 8月15・16日（土・日） 45名 参加者満足度 95.0%

第2回ファミリーキャンプ 9月21日（日） 31名（13家族） 参加者満足度 92.3%

## 出張・出前授業

福岡市レクリエーション協会 真あそび忍ジャになろう 5月5日（月） 617名

香住丘公民館 香住っ子ひろば レクリエーション指導 6月7日（土） 38名

# 心豊かで健康的なライフスタイルを支える公園

○流木アートや漂流ゴミを活用したジャンクアートの制作

イオンモール筑紫野 流木・貝殻アート制作

8月2・3日（土・日） 52組 127名



○ひとり一花運動の参加

緑のカーテン促進 ゴーヤ/朝顔

フラワーピクニック内覧会参加予定

○職員のアイデアをカタチにした数

11月より職員から募集予定 1月～3月の閑散期を利用して実施予定

その他のイベント参加状況

防災イベント（公園管理センター主催）の協力参加

・昨年度3月に初参加 今年度は11月に参加予定 防災ロープワーク



# 多様な人の多様な学び、活躍を支える公園

- 「夢授業」への参加校数 小・中・高におけるキャリア教育の提供

「夢授業」への参加 **2校**

9月11日（木）篠栗中学校

10月3日（土）三筑中学校

- 公園管理センター作成の「障がい者ケアプログラム実践集」をもとに利用団体等を対象にプログラム支援学校プログラム（公園管理センター 動物管理課と連携）

5月 支援学校 **2校**でどうぶつの森にてカピバラ餌やり体験

- 各団体との連携回数 ふくおかFUN・レクリエーション協会・科学館他

福岡市レクリエーション協会 5月「真あそび忍ジャーになろう」

スポーツ鬼ごっこクラブ福岡 小学校や公民間でのスポーツ鬼ごっこ

東区社会福祉協議会 「子どもの居場所」交流・情報交換会参加

# 今年度の目標達成に向けた動き

## ◆情報の収集

- ・各機関の取組み（イベント、行事等）の把握・共有
- ・利用者のニーズ調査　主催事業、ブース出展アンケート等

## ◆連携の促進

- ・企画部が窓口となり関係機関との新たな連携推進
- ・海浜公園管理センター、Park-PFI、マリンワールドとの連携深化

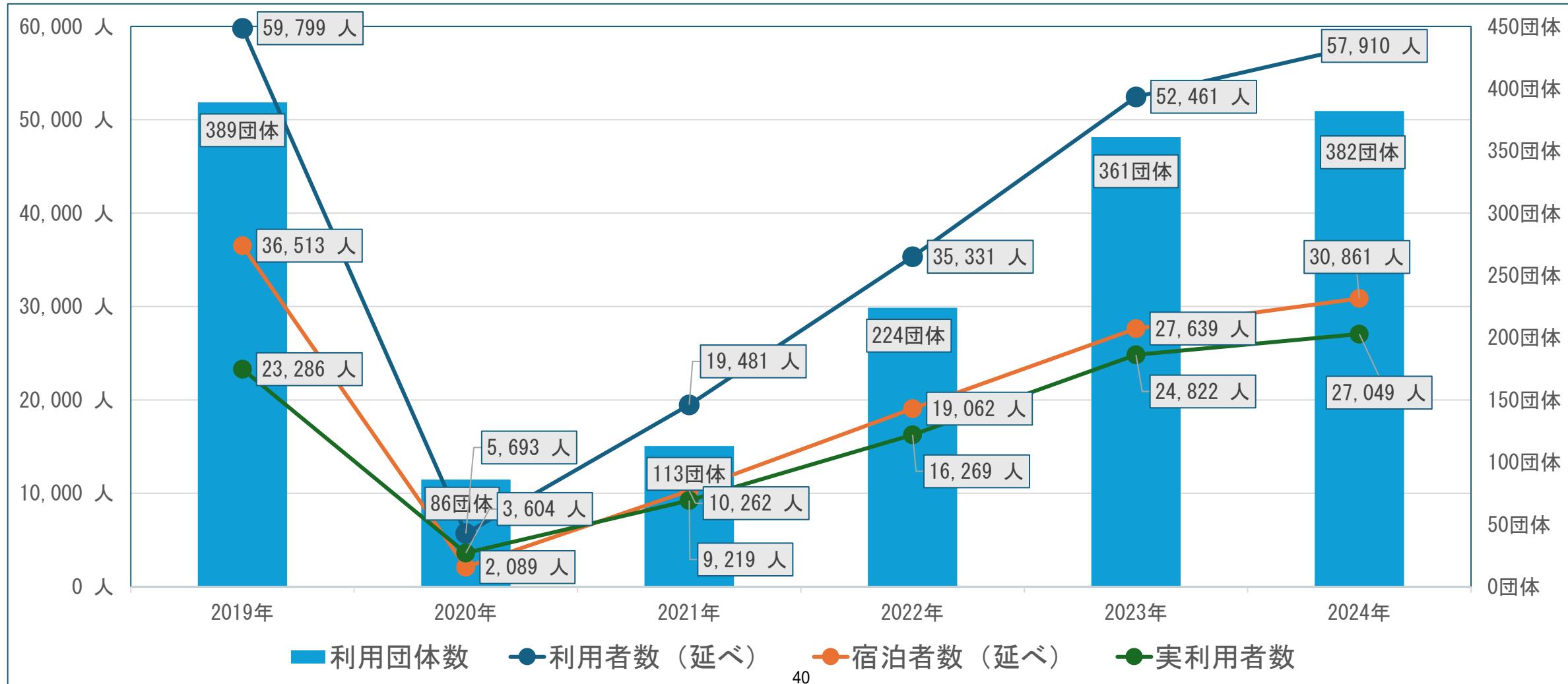
## ◆安全安心の提供　（日本一満足度の高い施設を目指す！）

- ・ヒヤリハット報告の促進と共有　利用者目線で安全推進
- ・研修、防災、防犯、施設、設備安全点検

(参考) 海の中道青少年海の家 利用者数

※2025年9月18日時点

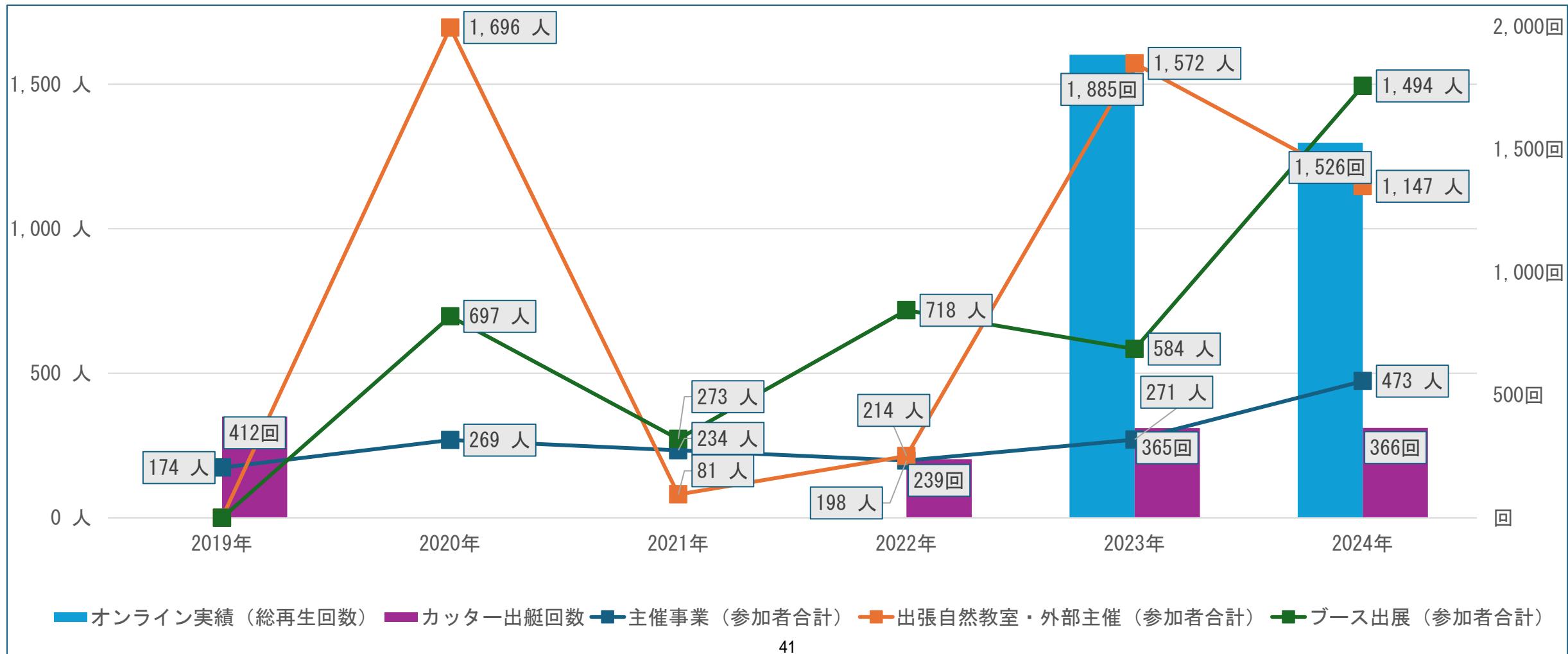
	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2024年度目標	2024年度達成率
利用者数（延べ）	59,799人	5,693人	19,481人	35,331人	52,461人	57,910人	31,212人	65,000人	89.1%
宿泊者数（延べ）	36,513人	2,089人	10,262人	19,062人	27,639人	30,861人	16,615人		
実利用者数	23,286人	3,604人	9,219人	16,269人	24,822人	27,049人	14,597人		
利用団体数	389団体	86団体	113団体	224団体	361団体	382団体	235団体	400団体	95.5%



(参考) 海の中道青少年海の家 実施イベント

※2025年9月18日時点

	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2024年度目標	2024年度達成率
主催事業（参加者合計）	174 人	269 人	234 人	198 人	271 人	473 人	122 人		
出張自然教室・外部主催（参加者合計）	—	1,696 人	81 人	214 人	1,572 人	1,147 人	655 人		
ブース出展（参加者合計）	—	697 人	273 人	718 人	584 人	1,494 人	127 人	1,000人	264.1%
オンライン実績（総再生回数）	—	—	—	—	1,885回	1,526回	6,114回	2,000回	76.3%
カッター出艇回数	412回	0回	0回	239回	365回	366回	37回	400回	91.5%





## 【海の家 SNS】



いいね!



チャンネル登録  
お願いします!

## ●管理センターをはじめとした各関係機関と連携したイベントの実施

夏の暑さを避けてドッグランを利用したいというニーズに応えた夜間開園「ナイトドッグラン」やアウトドアイベントを実施しました。

将来像1



ナイトドッグラン利用風景



アウトドアイベント①



夜間開園時の風景



アウトドアイベント②



## ●事業者、関係機関と連携した宿泊パック等の充実

宿泊とセットになったウェディングや企業連携によるチャリティラン、管理センター連携の気球搭乗体験等を実施しました。

ガーデンウェディング



レッドブルチャリティラン①



気球搭乗体験



レストランウェディング



チャリティラン②



LIVEイベント



## ●観察プログラムの実施

管理センター（夏の虫観察）、青少年海の家（星空観察・ワークショップ）、P-PFI（飲食提供）が連携した  
ナイトミッション～特別編～を開催しました。

ワークショップ



虫観察



焚火で焼きマシュマロ



星空観察



## ●地域住民や地元団体の活動や発表の場、機会を創出し、公園利用を促進する。

九州産業大学の学生企画による、AR（拡張現実）を活用し、サイクリングしながら公園に関する謎解きを楽しむイベントを実施しました。



### 謎解きしながら公園を巡ろう

**光と風のミステリーライド**  
～道に散らばる手がかりを探せ～

サイクリングコースを周りながら、看板を探して謎を解いていくリアル謎解きゲームです。スマートフォンのAR読み取り機能を使いますので、挑戦前にお使いのスマートフォンでARマークを読み取れるかテストしてください。

まずはQRコードのテスト！

1. QRコードをスマートフォンで読み込もう。
2. 画面が切り替わってスキャンマークが出たら右のクロスワードを書いてみよう！

3. 犬のイラストが出てきたら、お使いのスマートフォンで遊べます！

謎解きゲーム

ARによるクイズを読み込む利用者



イベント紹介する学生



# 未供用区域の整備（B地区：博多湾側海浜部）



海の中道海浜公園  
Uminonakamichi Seaside Park



国土交通省

参考資料7  
(公園事務所)

- B地区の残地（未開園区域）は、エリア内にクロマツ林が分布し、A地区から連続する海岸線は、公園内の博多湾側で唯一自然海岸が残り、穏やかな海に面した砂浜が広がっている（一部エリアを園内工事で使用する土砂等のストックヤードとして活用）。
- 令和7年度から、本公園の利用状況や「うみなかビジョン2030」を踏まえ、当該地区の整備・管理の方向性を検討し、**基本計画・基本設計の策定を行う（実施中）**。
- 検討にあたり、隣接するA地区（雁の巣レクリエーションセンター等）との地区間移動に関する検討や、供用形態、国営公園の無料区域・有料区域の設定、入場ゲートの位置、園路の連結等についても検討を行う予定。

## ■B地区の残地の現状

- ・未開園区域：A地区、B地区の残地、D地区東側 等



## ■「うみなかビジョン2030」（抜粋）

- ・「既に市民の多様なスポーツの場として親しまれている雁の巣レクリエーションセンターと隣接するB地区の未開園区域の整備を推進し、エリア一帯を健康増進・運動の場として開園する。」
- ・「穏やかな博多湾に面した砂浜において、海を感じるスポーツ、アクティビティ、自然体験プログラム等を実施し、公園内で最も海を感じることができるエリアとする。」

